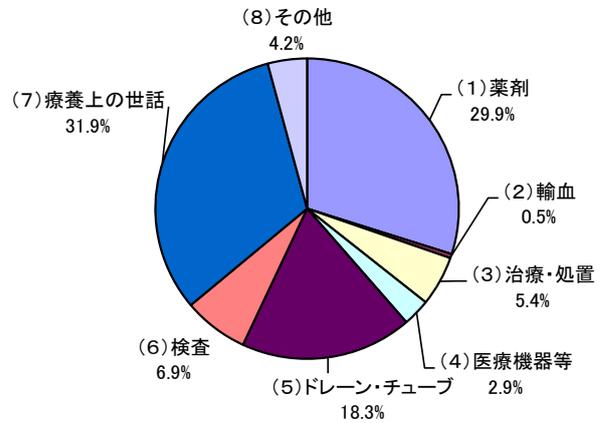


●平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)
患者さんに影響があった、あるいはその可能性があったインシデント

概要		
項目	件数	%
(1)薬剤 (うち与薬に関するもの)	929 (775)	29.9 (24.9)
(2)輸血	14	0.5
(3)治療・処置	167	5.4
(4)医療機器等	91	2.9
(5)ドレーン・チューブ	569	18.3
(6)検査	216	6.9
(7)療養上の世話 (うち転倒・転落)	992 (504)	31.9 (16.2)
(8)その他	130	4.2
合計	3108	100.0



平成28年度、職員から3108件のインシデント報告がありました。薬剤に関するものが約3割、転倒・転落が2割弱と前年度とほぼ同様の結果でしたが、ドレーン・チューブ類に関するものが2割弱、と若干減少しました。

重要な事例については再発防止のため、関連部署や関連する委員会などと、原因究明や対策について検討しています。

●お持ちですか？お薬手帳

患者さんが病院や診療所、歯科医院から処方され服用している全てのお薬の情報は「一冊のお薬手帳」にまとめましょう。お薬手帳をみせることで、お薬の重複投与や危険な飲み合わせを未然にふせぐことができます。お薬手帳を何冊も持って病院ごとや薬局ごとに使い分けるのではなく「一冊のお薬手帳」にすることが正しい使い方です。



●医療安全川柳:テーマ「アンゼン GO」

11月25日の医療安全の日を含む日曜から土曜までの1週間は医療安全推進週間です。平成28年度は、「アンゼン GO」をテーマに医療安全川柳に取り組みました。

院内36部署から医療安全川柳が投稿され、来院された方々の人気投票(138票)などから優秀作品を選びました。投票にご協力頂き、ありがとうございました。

